

第2回厚生常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成26年2月12日(水) 午前10時0分
- 2 閉会日時 平成26年2月12日(水) 午前11時25分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
5番 丸山 明君 7番 原田 素代君 9番 行本 恭庸君
13番 福木 京子君 14番 佐藤 武文君 17番 実盛 祥五君
18番 小田百合子君
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 副市長 内田 慶史君
総務部長 池本 耕治君 市民生活部長 小坂 孝男君
市民生活部参与 藤井 清人君 保健福祉部長 奥本 伸一君
保健福祉部参与兼 岩藤 正人君 赤坂支所長 森 章君
社会福祉課長兼 山田 長俊君 吉井支所長 檜原 哲哉君
子育て支援課長 赤磐市民病院事務長
熊山支所長兼 市民課長 鶴海 恵子君 環境課長 黒田 靖之君
赤磐市民病院事務長 健康増進課長 岩本 武明君 介護保険課長 藤原 康子君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 幹 原田 幸子君
- 8 協議事項 1) 平成25年度事業の進捗状況について
2) 平成26年度新規事業の概要について
3) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（福木京子君） 皆さんおはようございます。

ただいまから第2回厚生常任委員会を始めていきたいと思います。

その前に市長のほうから御挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、市長。

○市長（友實武則君） 皆さんおはようございます。

本日は御多忙の中、第2回厚生常任委員会を開催いただきましてありがとうございます。

寒い日が続いております。皆様も風邪など引かないようお気をつけいただきたいと思います。

さて、昨日2月11日、赤磐市議会議員の山下浩史議員のお葬式ございまして、たくさんの方々がお見送りに訪れていただきました。心より御冥福をお祈りいたす次第でございます。

さて、きょうの常任委員会への協議の事項でございますけれども、平成25年度事業の進捗状況並びに平成26年度新規の事業の概要について御説明させていただきます。その他の案件も用意しておりますので、御協議よろしくお願いを申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○委員長（福木京子君） 行本議員は何も連絡がないので、欠席ということですね。

それでは、もう早速始めていきたいと思います。

協議事項についていきます。

平成25年度事業の進捗状況について、まずよろしくお願いたします。

○市民生活部長（小坂孝男君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、小坂部長。

○市民生活部長（小坂孝男君） それでは、市民生活部のほうから御説明申し上げます。

委員長、これ25年度事業の進捗と26年と一緒にさせていただきますのでよろしくお願いたします。

その中では今度の3月議会のほうへ提出いたします補正予算等も一部入っておりますが、説明のみというふうにさせていただきますと思います。

担当課長のほうから順次説明してまいりますので、よろしくお願いたします。

○委員長（福木京子君） それでは、鶴海市民課長。

○市民課長（鶴海恵子君） 市民生活部資料の1ページをお開きください。

3月補正予算につきましては、3月の議会の議案として上げさせていただきますけれども、一般会計では歳入、国民健康保険基盤安定負担金の国分、県分の交付額が決定されたため増額をお願いいたします。歳出、保険基盤安定負担金分の増額と事業勘定による人件費減額補正により繰出金の減額をお願いいたします。

次に、国民健康保険特別会計事業勘定では、歳入、直営診療施設財政支援分が該当しなくなったため、国の財政調整交付金の減額をお願いいたします。

次に、国民健康保険の広域化に向けて県からの補助が創設されたので、県補助金の増額をお願いします。利子及び配当金の額の確定により、利子及び配当金の増額をお願いいたします。

4、国民健康保険基盤安定負担金の交付額決定による増額と職員給与費等繰入金の減額を合わせて、一般会計繰入金の減額をお願いいたします。

5、基金繰入金は医療費が落ちついているため、減額をお願いします。

6、延滞金は実績により増額をお願いします。

次に歳出です。

報酬共済費は徴収嘱託員の1名減により減額をお願いします。償還金利子及び割引料は補助金の額の確定により増額をお願いします。

3、直営診療施設繰出金は佐伯北診療所の交付金が対象外となったための減額をお願いいたします。

4、歳出の財源調整のため、予備費の減額をお願いします。

次に、国民健康保険特別会計の診療勘定です。

歳入は、事業勘定繰入金は国の特別調整交付金の対象外となったことにより減額をお願いします。歳出、歳出の財源調整のため予備費の減額をお願いします。

以上が主な補正予算の内容でございます。

次に、26年度の新規事業について説明させていただきます。

保健事業費において、後発医療品、ジェネリック医療品の差額通知に関する委託料を新たに予算化しております。この差額通知は、現在処方されている薬をジェネリック医薬品に切りかえた場合、薬代がどれくらい軽減できるかを通知することによりジェネリック医薬品への切りかえを促進し、国保全体の医療費の削減につなげることを目的としております。ただし、全ての医薬品が対象ではないため、対象外であるがんや精神疾患などの医薬品等に関しては通知いたしません。また、風邪やうがい薬など、通知が届いたときに既に治療が終了していると考えられるものについても通知をいたしません。

以上、簡単ですが、報告させていただきました。

○委員長（福木京子君） 市民課関係は終わりましたね。

はい、小坂部長。

○市民生活部長（小坂孝男君） 続きまして、協働推進課の関係でございますが、まず上段のほうにございます一般会計の補正予算では、歳入のほうでは住宅新築資金等の償還に係ります補助金、これが確定したということで増額、それから2項目としましては同じく住宅新築資金の貸付元利収入で、過年度分の貸し付けの償還があったことから増額いたすものでございます。

それから、3点目につきましては、これも市町村振興協会の助成金でございますが、額が確定したということで増額いたすものでございます。

また、歳出のほうでございますが、まずコミュニティ施設の整備ということで、地区集会所等におけます工事が完了いたしまして、事業費の残ということで減額する。そしてまた、台風や大雨等によりまして発生した修繕に対応するための予備費的に緊急修繕について、該当の修繕が発生しなかったということに伴いまして、あわせて減額いたすものでございます。

それから、2点目につきましては、これもコミュニティ関係の事業で、委託料としてまちづくりサロンの開催について研修講師への事業委託を予定いたしましたが、人材養成講座、協働のまちづくり塾の受講生によりまして独自で開催したということで減額いたすものと、それからまた新たに県の事業の活用により協働のまちづくり講演会の講師委託料を減額するという、そういった減額が中心の歳出となっております。

それから、4ページのほうに26年度の協働推進事業ということで、新規というんですか、これにつきましてはこの3月に策定が完了いたしますまちづくり指針ができますと、これを広報紙やホームページ等を通じまして周知、啓発を行うというふうなこととともに、推進委員会、これは仮称でございますが、同時につくりますアクションプログラムの進捗状況の検証を行っていく。また、全庁的に協働の手法を活用した事業の推進を行う。例えば市民課の意見の集約や研修会、そして地域や各種団体からの意見聴取についてワークショップの形式を用いたような形で協働という手法をさらに具体的に事業の中に取り入れていくと、そういったことを26年度は目指していきたいというふうに思っております。

以上が協働推進課の関係でございます。

○委員長（福木京子君） 協働推進課の関係が終わりました。

続いて。

○環境課長（黒田靖之君） 委員長、環境課黒田です。

○委員長（福木京子君） はい、黒田環境課長。

○環境課長（黒田靖之君） それでは、環境課のほうから御説明させていただきます。

5ページのほうをごらんいただきたいと思います。

まず、3月補正に計上予定の主なものとして掲げさせていただいております。

まず、1つ目でございます。債務負担行為の関係でございます。26年4月1日から向こう5年間の赤磐市環境センターの焼却委託に係るものでございまして、入札の実施によりまして債務負担行為額が決定したということになりますので、減額のほうをさせていただきたいと考えております。

それから、歳入の関係でございますが、これは先ほど協働推進課のほうもございましたが、岡山県市町村振興協会から協働のまちづくり推進助成金として環境課に関するものの交付が予定しております。

それから、歳入の部分でございます。衛生費の保健衛生総務費関係でございますが、1つ目といたしまして柵原・吉井・英田火葬場施設組合負担金の額が決定したことによります減額。それからもう一点、和気北部衛生施設組合、火葬場関係でございますが、負担金がこれも額の決定ということで減額を予定しております。それから、同じく衛生費の環境衛生費の関係でございますが、委託料関係で砂川支流水質の検査委託料の支出見込み、入札残というような形になりますが、この関係で減額を予定しております。

続きまして、2つ目、自動車騒音測定業務委託料関係の部分も支出の見込みによります減額を予定しております。それから、同じく衛生費の関係の清掃総務費関係でございますが、負担金、補助及び交付金の関係で、1つ、和気北部の衛生施設組合、これはごみ処理関係になりますが、これの負担金の額の確定によります減額。それから、和気・赤磐し尿処理施設組合の負担金の額、これも確定によります減額ということで計上を予定しております。

次に、和気北部の衛生施設組合の規約の一部変更及び財産処分ということで、26年3月31日をもって同組合で共同処理しておりましたごみ処理業務が終了するということから、今回その規約の一部を変更いたしまして、またあわせて財産の処分方法を定めるものということでございます。

内容といたしましては、ここにごらんのようにごみ処理の収集及び処理に係る事務を行わないということ、それから組合の事務所の位置を現在の和気町益原から和気町役場に変更になると。それから、現在の組合の負担割合の部分が変更になるという点でございます。それから、財産処分の関係につきましては、不動産におきましては土地建物は和気町に無償譲渡すると、それから基金につきましては解体費用を和気町に譲渡する、それからその他の財産として処分すべき財産がある場合につきましては関係市町において協議を行うという、こういった内容になっております。

この部分につきましては、3月議会へ議案として上程をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、この規約の変更等によりまして4月1日から赤磐市の環境センターが本格稼働するという運びになります。

その6ページ、7ページに和気北部の規約の変更の新旧対照表をつけさせていただいておりますので、またごらんいただければと思います。

それから、8ページ以降につきましては、現在の環境センターの進捗率ということで、1月の末時点で、緑色になりますが、96.86%全体の進捗状況という形になっております。

9ページ、10ページ以降につきましては、それぞれの施設ごとの部分でございます。またごらんいただければと思います。

環境課のほうからは以上でございます。

○委員長（福木京子君） 環境課のほうは終わりました。

それでは、市民生活部について聞きたいことがありましたら、予算の関係ですので、突っ込んだあれはまた3月議会になりましょうが、きょう聞いていただければと思います。

それから、行本議員はおくれてくれました。

○委員（原田素代君） 感想を。

○委員長（福木京子君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 今回大変米印での確な説明を入れていただいでて、大変わかりやすくありがたいと思います。これからもよろしくお願いします。

○副委員長（丸山 明君） 質問を。

○委員長（福木京子君） よろしいですか。

はい、丸山委員。

○副委員長（丸山 明君） 2点ほど。

2ページのジェネリック医薬品の差額通知に関する委託料ということで、予算化していくということ、新規事業ですね。これ大体こういう差額通知等を入れていくことで保険料を、見込みですけどもどのぐらいの節約効果があるというか、見込みですからそんなに責任持った数字ということにならないかもしれませんが、どういう、このぐらいのものは節減をしていきたいというふうにお考えになってるんじゃないかというふうに思いまして、そのことを1点。

それから、もう一つは小さいことで申しわけないんです。5ページの歳入で、これも岡山市町村振興協会から助成金が交付されるということなんですが、限度額100万円までと、こういうふうなものを、協働のまちづくり推進のための助成金ということだと思っうんですが、どんなふうに関これについて今後を考えて、一般に募集かけるのかなというふうな感じがしたんですが、そのあたりの、どういうふうに使っていかれるというふうにお考えになってるのか。その2点ちょっと教えてください。

○委員長（福木京子君） 簡単をお願いします。

はい、鶴海課長。

○市民課長（鶴海恵子君） ジェネリック医薬品につきましては、差額通知が出すのが4月から出しまして、数値として結果的に私たちの手元に届くのは夏以降になります。その1年の集計としても25年度中にはもちろんまだ手元には出てこない状況なんです。皆さんに周知徹底をしていただいて、実際に影響が出るのが27年度かなとは思ってますけれども、医療費の1%ずつ伸びてる分の、せめて、大きいんですけども、削減を目指してはいます。

○副委員長（丸山 明君） 伸びしろ。

○市民課長（鶴海恵子君） はい。抑えていきたいかなという、事務局としては考えております。

○委員長（福木京子君） そしたら、振興協会のほうは。

○環境課長（黒田靖之君） はい。

○委員長（福木京子君） 黒田課長。

○環境課長（黒田靖之君） 先ほど協働のまちづくりの推進事業の関係でございます。

これにつきましては、市町村が地域住民と協働によるまちづくり事業ということでこの協会のほうから交付金がいただけるということになっておりまして、これは環境課の関係する、例えば環境衛生補助金であったり、廃棄物減量化対策事業であったりとかということで、こういう市民と協働でやる事業の中の市が経費を支出したのに対する一定の限度額100万円ということで、事業費の半分、2分の1以内で交付されるものということで、例年毎年こういった事業を市のほうで実施しておりますので、こういった協働のまちで市民とともにやっていくという事業を対象に申請をさせていただいて、その実績に応じて交付がされると、100万円以内ということで、継続的にやっていく事業になります。

○委員長（福木京子君） はい、丸山委員。

○副委員長（丸山 明君） 濟いません。そうすると、今の説明でちょっとわかったんですけども、市のほうでそういう今までやっているような事業もあって、その中で特定をして申請をするという形になるということで、別にそれじゃあ例えばまちづくりで今参加している方があるんですが、そういった方々に助成金、こういう助成金があるよと、ひとつ自分たちのプロジェクトで、自分たちというか市民の自由な発想の中で、50万円になるか100万円になるか、100万円までだと思うんですが、そういったものを使ってひとつやってみませんかみたいなことは考えられてはないということですね。

○環境課長（黒田靖之君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、黒田課長。

○環境課長（黒田靖之君） そういった内容の交付のものでなくて、市のほうが支出しているものに対して振興協会のほうから後で助成をしていただけるということで、市の支出に対して交付していただけると、援助していただけるというような事業でございます。

○副委員長（丸山 明君） はい、わかりました。

○委員長（福木京子君） ほかに。

よろしいですか。

きょう聞いたほうがいいことがあれば言ってください。また3月議会でも十分できますから。

はい、行本委員。

○委員（行本恭庸君） 今の副委員長の関連ですけど、これ全体枠はどの程度予定されておるわけ。

○委員長（福木京子君） どこですか。今のまちづくり……。

○委員（行本恭庸君） 今の、振興協会からという分があるでしょう。限度額100万円というのは、全体事業枠はどの程度に。

○環境課長（黒田靖之君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） はい、黒田課長。

○環境課長（黒田靖之君） 環境課の関係では78万円を予定しております。

○委員（行本恭庸君） じゃから、市としては全体でどのくらい。

○環境課長（黒田靖之君） これ一応上限が100万円ということになってます。

○委員（行本恭庸君） 上限というのは、事業費の2分の1以内でえんじやな。100万円が限度額ということは、ほんなら200万円以上の事業をして100万円まで出るということじゃろ。そうじゃないんか。

○環境課長（黒田靖之君） そうですね。

○市民生活部長（小坂孝男君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、小坂部長。

○市民生活部長（小坂孝男君） この協働のまちづくりの推進事業助成金の全体像は、市民生活部関係以外もございますので、トータルいたしますと、事業でいきますと1,100万円程度はございます。そのうちの200万円を、100万円ですけれど、これが中がまちづくりの関係と安全・安心という2つの部門に分かれておりまして、それぞれが100万円ずついただけますんで、200万円、全体の事業費は1,150万円、1,100万円強ということでございます。よろしくお願いたします。

○委員（行本恭庸君） はい、よろしい。

○委員長（福木京子君） よろしいですか。

他にこの関係はよろしいですか。市民生活部のほうは。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福木京子君） それでは、こちらは終わりました、次に行きます。

保健福祉部のほうの説明をお願いします。

○保健福祉部長（奥本伸一君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） はい、奥本部長。

○保健福祉部長（奥本伸一君） 保健福祉部につきましても、平成25年、26年をあわせて担当課長より説明させていただきます。

○保健福祉部参与兼社会福祉課長兼子育て支援課長（岩藤正人君） 委員長。

○委員長（福木京子君） 岩藤課長。

○保健福祉部参与兼社会福祉課長兼子育て支援課長（岩藤正人君） それでは、保健福祉部の資料の1ページのほうをお願いいたします。

平成25年度の3月の一般会計の補正予算の主なものにつきまして説明させていただきます。

まず、社会福祉課でございますが、1月の厚生常任委員会のほうで説明させていただきました臨時福祉給付金の給付事業、これにつきまして事務費部分をこの3月議会のほうで計上させ

ていただきたいと考えております。財源につきましては、国の10分の10の負担ということですので。

それから、2番目が、同じく子育て世帯の臨時特例給付金ということで、同様に事務費のほうの計上をお願いしたいと考えております。

それから、3番目ですが、障害者自立支援給付費の増額ということで、障害者の自立支援給付のサービスの受給者とサービス利用料の増加に伴いまして給付費のほうの増額をお願いしたいと考えております。財源としましては、国が2分の1、県が4分の1を負担していただけます。

4番で繰越明許費ということで、ただいま説明しました1番と2番につきましては事業の完了が26年度になる関係で平成26年度への繰り越しをお願いしたいと考えております。

続きまして、子育て支援課でございますが、1番、歳入の振りかえということで平成24年度までの子育て支援交付金、これが国の補助でございますが、県の補助金であります安心こども基金特別対策事業費補助金に振りかえられたために財源の更正をお願いしたいと考えております。

それから、2番、児童扶養手当の減額ですが、児童扶養手当の歳出見込みがほぼ支出が終わっておりますので、不用額の減額をお願いしたいと考えております。財源は国のほうが3分の1でございます。

それから、3番が保育園運営事業費の減額ということで、公立保育園の臨時保育士の人件費が決算見込みから減額をお願いしたいと考えております。

それから、4番目で繰越明許費ということで、子ども・子育て支援システム導入事業、12月補正予算のほうでコンピューターシステムの導入費を計上させていただきましたが、これが27年度から実施される子ども・子育て支援新制度に対するシステム導入費でございますが、厚生労働省のほうからシステムの内容等の詳細がまだ示されていないために26年度のほうに繰り越しをお願いしたいと考えております。なお、これにつきましては、25年度の安心こども基金特別対策事業補助金、県の補助金ですが、10分の10での対象事業でございます。

続きまして、2ページのほうをお願いいたします。

26年度の新規事業の主なものということで、社会福祉課のほうでまず1番、山陽老人福祉センターの補助金ということで耐震診断、屋根の修繕等につきまして補助金の増額をお願いしたいと思います。財源につきましては、地域福祉基金繰入金と地域振興基金の繰入金で対応をお願いしたいと考えております。

それから、2番の障害福祉計画の策定ということで、障害福祉サービスの提供体制の確保に関する基本指針として第4期の27年から29年度につきまして市の障害福祉計画を策定します。この経費について当初予算のほうに計上をお願いしたいと考えております。

それから、子育て支援課につきましては、子ども・子育て支援事業計画の策定ということ

で、子ども・子育て支援法に基づきます27年度からの地域の子育て支援の充実のための計画を策定を行います。

それから、2番が養育支援事業ということで、妊娠、出産、育児期に養育を特に必要とする家庭、虐待等の可能性があるような家に対しまして保健師や助産師、ヘルパー等が訪問しまして養育に関する指導や助言を行うということで、財源としては県の2分の1の負担でございます。

3番の子育て支援サイト運営委託ということで、今現在NPO法人に委託して子供情報紙の発行を行っておりますが、年に6回行っておりますが、これにつきまして市のホームページによるリンクするサイトに移行していきたいというふうに考えております。

以上、社会福祉課と子育て支援課の関係でございます。

○委員長（福木京子君） あと、次は保健福祉部のほうですね。

○健康増進課長（岩本武明君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） それでは、資料の3ページのほうをごらんいただきたいと思っております。

健康増進課のほうで6号の補正として上げさせていただきますのは、歳入といたしましては肺炎球菌予防接種補助金の減額を雑入で上げさせていただきますと思います。

それから、診療所建設事業の市債の追加を予定しております。

歳出といたしましては、保健衛生総務費では臨時職員の賃金、講師謝礼、がん検診委託料、愛育委員会の地域活動補助金、不妊治療助成金のほうの減額をお願いしたいと思います。予防費につきましては、予防接種委託料の増額を予定いたしております。診療所費では、現在建設中の診療所の電話交換機器の設置工事、それから診療所の備品購入費の増額を予定いたしております。それから、繰越明許といたしまして、6目診療所費の繰越明許を予定いたしております。

26年度の当初予算に関しましてですが、一般会計では市民病院の清算事業に係る歳入歳出予算を計上する予定です。

それから、訪問看護ステーション事業特別会計の繰出金の計上です。

健康増進事業といたしましては、胃がん検診を医療機関での現在集団検診のみで行ってます胃がん検診を医療機関での個別検診を実施を予定いたしております。子宮がん検診につきましては、市内1カ所で個別検診を現在行っていますけれども、これを岡山市医師会等などによる実施によりましての医療機関の拡大を予定しております。

それから、2番目といたしましては、国民健康保険事業特別会計に赤磐市民診療施設勘定を新設する予定といたしております。内科、外科、リハビリテーション科、月曜から土曜日までの開業を診療科目として開設する予算でございます。職員数等につきましては、医師以下のメ

ンバーで構成する予定です。

それから、赤磐市の訪問看護ステーション事業特別会計を新設いたします。こちらのほうは医師の指示書によりまして利用者が可能な限り居宅において利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指した業務を行う予算を計上する予定でございます。職員数等につきましては、看護師3名、作業療法士1名を予定いたしております。

4ページのほうをごらんいただきたいと思います。

診療所の建設の状況でございます。26年1月24日から2月4日にかけて鉄骨の建て方を終了いたしております。2月7日には中間検査を行いました。

それから、別紙といたしまして、5ページのほうに2月4日の写真とそれから工事の進捗表のほうをつけさせていただいております。

4ページのほうに戻っていただきたいと思います。

4番目といたしましては、赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会を北部地域のほうを予定いたしております。構成員といたしましては、医師会、それから岡山県、これは保健所です、自治会の代表者、赤坂、吉井地域の代表者、それから民生児童委員、愛育委員会、社会福祉協議会、副市長をメンバーとして2月24日に第1回目の開催を予定いたしております。それには助言者としてコンサルタント事業者のほうも会議に随時参加する予定でございます。コンサルタント事業者につきましては、現在検討中でございます。

2番目といたしまして、先ほど言いました今年度は2月24日に第1回の会議を行いたいと思います。26年度では会議を4回、それから視察1回、それから最後には報告書の作成を予定いたしております。

それから、5番目といたしまして、熊山地域の懇談会のほうでございますけども、構成員といたしましては医師会、それから保健所、自治会の代表者、民生児童委員会、それから愛育委員の代表者、社会福祉協議会、住民代表、副市長と。それから、また同じように助言者としてコンサルタント事業者のほうを会議のほうに参加していただく予定です。今年度につきましては、3月4日に第1回目の会議を行う予定です。26年度につきましては、先ほどの北部地域と同様に、会議を4回、視察1回、最後には報告書を作成したいと思います。

それから、6番目といたしましては、在宅医療連携拠点事業推進協議会の講演会のほうを2月9日の日曜日に行いました。地域に寄りそ医20年ということで、福井県のおおい町国保名田庄診療所長でいらっしゃいます中村先生においでいただきまして、いきいき交流センターのほうで行いました。参加者の数は180名でございました。家庭での家の力というのはかなりあるような事例を踏まえまして、いろいろと報告をいただいた内容でございました。

健康増進課からは以上です。

○委員長（福木京子君） 一応報告ありました。

こちらが終わりまして、あとは介護保険課ですね。

はい、藤原課長。

○介護保険課長（藤原康子君） 保健福祉部資料の6ページをお開きください。

3月補正予算につきまして、3月の議会の議案として上げさせていただきますが、一般会計では歳出で介護保険特別会計保険事業勘定への繰出金として保険給付費の増額の兼ね合いから増額をお願いいたします。

また、介護保険特別会計サービス事業勘定の繰出金としまして、介護報酬の増額及び一部委託料の減額に伴い減額をお願いいたします。

介護保険特別会計保険事業勘定の歳入歳出ですが、資料のとおりです。このたびの補正予算につきましては、保険事業勘定では平成25年度、9カ月分の実績に基づく保険給付費の増減や地域支援事業費の通所型介護予防事業の減額、総務費、一般管理費の消費税引き上げに伴う区分支給限度基準額の見直しに係るシステム改修の経費の増額が主なものでございます。サービス事業勘定につきましては、ケアプラン作成の民間居宅介護支援事業所への委託料の減額が主なものでございます。

以上が主な補正予算の内容でございます。

7ページに平成26年度当初予算につきましてですが、同じく3月の議会の議案として上げさせていただきますが、一般会計では本年度に引き続き地域包括ケアシステム推進事業補助金を上げさせていただきます。介護保険特別会計保険事業勘定の予算編成に当たりましては、平成25年度の給付実績の見込みと平成26年度の保険料納付者総数見込み1万3,324人、要介護認定者数見込み2,312人、サービス利用者総数の見込み1,940人を基本に予算編成を行っており、予算の規模につきましては平成25年度当初予算額37億3,440万1,000円に対しまして給付費の増額に伴い平成26年度は39億6,710万2,000円となり、2億3,270万1,000円、約6.2%の増額でございます。

サービス事業勘定の予算編成に当たりましては、要支援1、2の方のケアプラン作成につきまして月平均400人を見込み、うち130人を民間居宅介護支援事業所へ一部委託を行う見込みで予算編成を行っており、予算の規模につきましては平成25年度当初予算額2,056万5,000円に対しまして平成26年度は2,021万円となり、33万5,000円、約1.7%の減額でございます。

次に、平成26年度新規事業でございますが、第6期介護保険事業計画策定です。介護保険事業計画及び老人福祉計画は、介護保険制度や高齢者に関する保健福祉事業の円滑な実施に関する総合計画として取り組む課題を明らかにし、目標を定めるものです。

この計画は、介護保険事業計画と老人福祉計画を一体的に策定するもので、介護制度施行後の計画として今回が第6期目となります。計画の期間は平成27年度から平成29年度までの3年間です。計画の基本理念、目標を設定し、介護保険サービスの見込みを出し、介護保険料を設定していきます。策定においては高齢者実態調査、策定委員会の設置、パブリックコメント

の実施等を予定しております。

そして、平成25年度赤磐市地域に計画いたしました小規模多機能型居宅介護において現在の状況を報告させていただきます。

8ページですが、現在の状況として、資料の写真が2月6日現在ですけれども載せさせていただきます。2月19日には建物の引き渡しを予定していると聞いております。

以上、4点、介護保険課から報告させていただきました。よろしくお願いいたします。

○委員長（福木京子君） 報告が終わりました。

順番に行ったほうがよろしいですか。全体、順番に行きましょうか。

社会福祉課、子育て支援課について何かありましたら。

○委員（原田素代君） ちょっとじゃあ。

○委員長（福木京子君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 子育て支援サイトの運営委託というのは、これはNPO法人に運営委託されると理解したらいいのですか。

○保健福祉部参与兼社会福祉課長兼子育て支援課長（岩藤正人君） そのとおりです。

○委員長（福木京子君） これについて、よろしいですか、ここは。

新規事業のところでもよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福木京子君） それでは、保健福祉部健康増進課についてありましたら。

はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 3ページの一番下の訪問看護ステーションは、これは新たに器的にも建設をして進めるということなんですか。

これは訪問看護ステーション事業を新しくするんですよね。これはどこが請け負って、どういうふうに進めることになるんですか。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 訪問看護につきましては、現在市民病院のほうでみなしの訪問看護というものをやっています。建物は新しく診療所の部屋の一部を使ってやる予定なんですけども、みなしの訪問看護ステーションというのが人数は2.5人今おればできるものを市民病院でやっています。それをこの、今度は看護師3名と作業療法士1名でやっていこうという予定でございます。

○委員長（福木京子君） わかります。

○健康増進課長（岩本武明君） 新たに、みなしの分の新たに……。

○委員（原田素代君） やりかえる……。

○健康増進課長（岩本武明君） やりかえるという、はい。

○委員長（福木京子君） 何か2.5人というのを3人にするということですか、どういうこ

と。ちょっとその辺の説明。

はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） みなしのを正式な訪問看護ステーションにするということですよ。

○委員長（福木京子君） はい。

それで、その人数の関係のところは、今現在2.5人見てる、ちょっとそこを説明してください。ここが看護師が3人と作業療法士が1人ということですよ。はい。

○健康増進課長（岩本武明君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 2.5人というのは、今の市民病院のスタッフが病院と訪問看護ステーションとを兼務してる方がおられます。そういった方をなくして看護師3名と作業療法士1名の4人でやるということです。

○委員長（福木京子君） 他にここについてはよろしいですか。

はい、行本委員。

○委員（行本恭庸君） 4ページの4番と5番、これについて構成員がここへずっと書いてあるわけだけど、何人でやるんか、そこらのところももう少し丁寧に書いてくれんかの。これじゃったら何人でやるんやわかりやせんじゃねえか。もう少しこれだけの資料するんなら、ちゃんとして、医師会なら医師会から何人とか、そういった数字を何の誰べえじゃというのは要らんけど、そのくらいのことはせえ、資料じゃったら。

○健康増進課長（岩本武明君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 人数のほうにつきましては、15人を……。

○委員（行本恭庸君） どっちが。

○健康増進課長（岩本武明君） 両方どちらも15人を予定いたしております。

○委員長（福木京子君） 細かいところがわかってるんだったら。

○健康増進課長（岩本武明君） 医師会からはお一人、済いません、5番目のほうの熊山地域の分につきましては医師会からお一人、それから県は保健所でお一人、それからあと熊山地域の自治会の代表といたしまして4人、熊山地域の区長会のほうから4人をお願いしたいと思っております。

それから、民生委員会のほうからお一人、それから熊山地域の愛育委員会から1人、それからあと社会福祉協議会からお一人、それから住民代表で3名、それから……。

○委員長（福木京子君） 正確をお願いします。

○健康増進課長（岩本武明君） 失礼いたしました。医師会のほうから市民病院を含めましてお二人です。

○委員長（福木京子君） 医師会と市民病院。

○健康増進課長（岩本武明君） はい、お医者さん。

○委員長（福木京子君） 市民診療所。どちらですか。

○健康増進課長（岩本武明君） 今のところは市民病院です。25年度中の開催されるのは市民病院からお一人。

それから、もうお一方、医療ミーティングからお一人を予定いたしておりますので、といたしますと住民代表の方が3名から4名、4人になります。失礼いたしました。

○委員長（福木京子君） 住民代表が4人。4人ですね。医療ミーティングは住民代表のほうへ入るということですか。

○健康増進課長（岩本武明君） はい。この中で……。

○委員（行本恭庸君） 助言者が1人入るんじゃろ。

○健康増進課長（岩本武明君） はい。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 助言者のほうは数には入れておりません。失礼いたしました。

○委員長（福木京子君） 数が合いますか。合います。

医療ミーティングの1人というのは住民代表のほうへ入るということですか。ということですね。

○健康増進課長（岩本武明君） はい。

○委員長（福木京子君） 行本委員、それでいいですか。

上の北部地域のほうの数は同じですか。ちょっと違うでしょ。

○委員（行本恭庸君） 言う気がねんでしょう、4番飛ばして5番から言うたんじゃから。よろしい。

○委員長（福木京子君） よろしいですか。

○委員（原田素代君） ちょっと。

○委員長（福木京子君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 住民代表は公募をされるということですか。どういう形で住民代表を選ばれるんですか。

○健康増進課長（岩本武明君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 住民代表の方はこちらのほうからお願いしたいと思っております。現在では命を守る会の代表の方ですとか、それから市民病院無床診療所化対策委員会の方ですとか、守る会の方を予定いたしております。

○委員長（福木京子君） それでちょっと……。

○委員（原田素代君） せっかくですから4番目のほうも知りたいんですが、4番はまだ確定してないわけですね。

○健康増進課長（岩本武明君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 4番のほうの北部地域の構成員でございますけども、医師会のほうからは3名の方、森先生、牧野先生も含めてのお3名の方でございます。それから、岡山県は保健所の所長がお一人、それからあと吉井、赤坂地域の区長会の方からはお二人、今のところ区長会長さんと笹岡の区長さんをお願いしたいと思っております。それから、吉井地域につきましては、旧地域が5地域ございますので5人の区長さん、それからあと民生委員さんがお一人、愛育委員さんがお一人、社会福祉協議会がお一人、副市長という形で、ここも同じようにコンサルタント業者のほうは人数には含まれておりません。

以上です。

○委員長（福木京子君） よろしいですか。

数が合いましたか。

○副委員長（丸山 明君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、丸山委員。

○副委員長（丸山 明君） ちょっと頭が混乱しとんですけど、この熊山地域の医療体制の将来を考える懇談会ということなんですけど、12月の厚生委員会の審議の中で予算伴って耐震工事というふうなことで、それからあのおときコンサルタント、外部委託が300万円ぐらい多分計上されて、これ可決されてると思うんです。この今回出てきてる懇談会と、それから12月に既に決まっている検討会みたいなことがあったと思うんです。予算も決定されてたと思うんですけど、そういうものとの……。

○委員長（福木京子君） 整合性。

○副委員長（丸山 明君） マッチングといえますか、どうなってるのか、ちょっと全体の今見えないんですけど、これは北部地域は北部地域でやって、熊山は熊山でやって、吉井と熊山に分かれてこういうミーティングで、やはりあり方検討会みたいな感じですよ、医療体制も。それとは別個に、この間12月やったのは別なのか、この中にどんなふうに予算的な措置とかそれから耐震化工事の検討とかというようなものが入ってきてるのかというのがちょっとすっきりと頭に入ってこんもんですから、ちょっと説明をいただけたらと思います。

○健康増進課長（岩本武明君） 委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 先ほど12月の補正で可決いただきました懇談会のものがこの4番と5番の懇談会でございます。

○副委員長（丸山 明君） それが。

○健康増進課長（岩本武明君） 同じものです。

それとあと、コンサルタントもこれに関する業務を行うためのコンサルタントの委託料を補正で議決していただいたものでございます。

それからあと、耐震診断につきましては、建物を使ってどういったものができるか、使えるかどうかのまず最初の耐震診断を行うということで、補正予算のほうを耐震があるかどうかの診断をいただくための予算をいただいております。ですから、熊山の地域の検討する中で、その建物が使えるということになりましたら、それを診断ができましたら建物を使っての活用方法を考えていくということになります。

○委員長（福木京子君） はい、丸山委員。

○副委員長（丸山 明君） ここにもう具体的に予定、日程が入ってきてますよね。それで、熊山については3月4日ということ、それから北部については今月の24日というふうなことで入ってきてるんですけど、そうすると予算先行してつくって、耐震化工事についてもいろいろ御検討なさってるようなんですが、そういうものでこれは、そうするとここに出てこられた団体の方はそれぞれ、例えば熊山についてはあの病院が使えるのかどうか、あの地区をどうするのかどうかということを含めて検討なさることになるんですか。というのは、耐震化診断の結果、ある程度使えるよというふうになった場合というふうなことを非常にこだわられてたと思うんで……。

○委員長（福木京子君） ある程度ちょっと、その辺はちょっと……。

○委員（佐藤武文君） 違うがな、言ようことが。

○委員長（福木京子君） 簡潔にちょっと。きょうの時点で聞きたいことを、また突っ込んだ話は3月議会でやればよいと思いますので。

○副委員長（丸山 明君） そこら辺で、今おっしゃっていただいたような材料で、まだ決まってないですよ、12月の耐震診断の結果なんかは。だから、そこら辺がちょっと聞いたかったもんですからお聞きしたんですが、まだあやふやなようですから、わかりましたと言っときます。

○委員長（福木京子君） どなたが答えられますか。

はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） 耐震診断につきましては、懇談会の資料の一部ということになろうかと思えます。一義的には熊山地域でどういった施設が必要かということを考えるための懇談会でございます。診断につきましては、その中の資料提供という形になってこようかと思えます。耐震診断結果につきましては、資料の一部という形になろうかと思えます。

○副委員長（丸山 明君） わかりました。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（福木京子君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） この間この図を見せていただいて大変頭が整理されたんですけど、まず1つは、確認したいのは前回の厚生常任委員会で市長さんが702万円かける以前に別の方法で書面上での耐震診断をすることにいたしますとおっしゃったことについては、それは今もそういう前提で進んでいると理解していいのかを確認したいんですが。

○委員長（福木京子君） どなたが答えられますか。

○委員（原田素代君） 市長さんがそういうふうにおっしゃってる。

○委員長（福木京子君） 前回の厚生委員会のときに。

○委員（原田素代君） それで進んでいますか。

○健康増進課長（岩本武明君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） その方針で今進んでおります。これからコンサルのほうを入れていきたいと思っております。コンサル、業者のほうを入れていく予定でございます。

○委員長（福木京子君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そしたら、第一弾の結果は当然委員会にも報告していただいて、こういう結果なので700万円のほうに移りますとか、こういう結果なのでもうしませんとか、そういうお話はここでいただけるかどうかを確認したいんです。

○委員（佐藤武文君） 違うが、まったく関係ねえ話じゃろ。

○委員（原田素代君） 耐震診断の話ですよ。

○委員（佐藤武文君） 関係ないが、じゃから700万円とこの事業とは関係ない。

○副委員長（丸山 明君） 関係ありますよ。

○委員長（福木京子君） ちょっと待ってください。

○委員（佐藤武文君） 違うよ、それ。

○副委員長（丸山 明君） 関係ありますよ。

○委員（佐藤武文君） ないんじゃない、700万とは関係ない。この事業はこの事業でやりよんじゃないから。

○委員長（福木京子君） いいですか。その事業じゃなくて、耐震との関係で懇談会にその資料として出すから、前回の厚生委員会でそのことを市長が答えてるから、そのことをもう一回再度確認を……。

○委員（佐藤武文君） 何があるん。

○委員長（福木京子君） 確認をするということ。

○副委員長（丸山 明君） 地域の医療体制を考えてるんでしょ。

○委員（佐藤武文君） それと700万円と何の関係があるん。

○副委員長（丸山 明君） あそこの設備を使えるかどうかという話じゃないん。

○委員長（福木京子君） 一応……。

○保健福祉部長（奥本伸一君） はい、委員長。

○委員長（福木京子君） 奥本部長。

○保健福祉部長（奥本伸一君） 懇談会並びに耐震の状況につきましては、逐次報告をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（福木京子君） よろしいですね。

○委員（佐藤武文君） 何にもわかっとりゃへん。

○委員長（福木京子君） ほったら行本委員。

○委員（行本恭庸君） 市長でも副市長でもええから答えて。

4番、5番のこういう書き方して、へえで人が聞いたらとちまちしたような答弁してじゃ、数が合いにきいような話をして、何でこれしっかりとした内容まで書いて出せれんのんで。ましてあんた議会の委員会ですよ、これ。予算で金がここへ何ぼでこれが何ぼじゃという話を書いて教えてくれ言よんじゃねんで。もう少しあんた親切というんか、それが常識じゃろうが。何でその常識的なことをできんのんなら。もう少しあんた、親切味がないで。議会をばかにしとんか。それでもってスムーズに検討できるんか。あんた方の姿勢がちいとおかしいんじゃないん。わしの言葉遣い悪いのは昔からじゃけど、言ようる意味だけはあんた間違うたことは言うたらんと思います、私はいつも。

○委員長（福木京子君） もう既に2月24日に予定したり3月4日に予定するということは、もう打診してある程度決まってる段階だと思うんで、きっちりやっぱり正確に……。

○委員（行本恭庸君） いやいや、決まっとうが決まってなかろうが、ちゃんとかういう構成して決めたらはつきりさせとかにやいけまあ、そりゃ。

○委員長（福木京子君） 正確な数字やその分再度。

○委員（行本恭庸君） あんたに言ようらへんのや。あんたが答弁することねんじゃ。わしが聞いとんじゃ。

○委員長（福木京子君） 再度出していただければと思いますが。

○委員（行本恭庸君） 姿勢の問題を問うとんじゃ。

○委員長（福木京子君） 市長ですか。

はい、副市長。

○副市長（内田慶史君） ただいま行本委員のほうから御指摘をいただいたところでございますけれども、先般も議長、副議長のほうから議会基本条例をもとに、今後丁寧な説明、つまり説明責任を十分果たしなさいというような御指摘もいただいております。そういったことで、今後十分内部で検討して、丁寧な説明をしてまいりたいというふうに考えますので、よろしく願いいたしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（福木京子君） はい、行本委員。

○委員（行本恭庸君） 内部で検討するという答弁というたらどういうことなん、そりゃ。検討してみて、このとおりでよろしいというたらもう言わんということじゃろ。何でそこまで隠そう隠そうとせにやいけんのんなら。ちゃんと人数決めて、何人から何人ですというんじやったらそりゃまだわからん、まだこれからの地元との調整で数がはっきりせんというところなんかもあるかもしれんけど、構成委員ぐらいのことはちゃんとはっきりして、何の誰べえまで書けとは言わんけど。

これで見ても、ほな吉井地区の区長会長5人で、関係ある区長さんというふうな説明も今あった。ほな熊山地区の区長会も大きく4地区に分けるからそういうふうなんかどうか。はっきりそういうふうに書けれんのんですか。書いてもひとつも、もっとわかりやすいような表現の仕方。ほな、例えばこういう会合がありますということと言われて、行本議員、こうこうこうのを聞いとんですけど、どういうメンバーでやられるんですかというて聞かれたとき、私はどういうて答弁すりゃいいんですか。

○委員長（福木京子君） 今の時点でもう全部決定してるんですか。

○委員（行本恭庸君） 決定しとるから言うたんじゃろうが、今。

○委員長（福木京子君） うん。してるんでしょう。してるんだったら正確に……。

○副市長（内田慶史君） ちょっと委員長、協議会にでも。

○委員長（福木京子君） はい、副市長。

○副市長（内田慶史君） ちょっと協議会にでもしてください。

○委員長（福木京子君） そしたら、協議会に切り替えます

○委員（行本恭庸君） 協議会にする必要ねえがな、何でな。

○委員長（福木京子君） ちょっと待って。

ちょっと休憩いたします。

午前11時0分 休憩

午前11時8分 再開

○委員長（福木京子君） それでは、休憩前に引き続いて委員会を再開いたします。

委員長、副委員長が月曜日に打ち合わせをしたときにここまで求めてなくて、まことに申しわけありませんでした。

それで、再度意見が出ましたように、正確な、もう決まってる段階で出していただきたいと思いますが。ほんで、きょうちょっと難しいと思いますので、きっちりした分をあと後ほど名簿を含めて出していただきたいと思います。

それについて、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君） この懇談会のメンバーの所属等につきまして後ほど資料のほうを出させていただきたいと思います。

○委員長（福木京子君）　お願いします。

よろしいですか。

はい、原田委員。

○委員（原田素代君）　要望ですが、傍聴ができますよね、この懇談会は。ですから、担当委員会のほうに日時と場所と事前に案内をいただけますか。できるだけ、議事録も出るということですからあれですけど、できるだけ私たちも傍聴させていただいたほうがいいと思うので、当面2月24日と3月4日がありますから、これの場所、時間を教えてください。できるだけ傍聴させていただきます。お願いします。

○委員長（福木京子君）　その、もう日にち的には余りない。

これは公開ですということなんですが、委員はそれは知らせていただけますけど、どこまでこれを。ここだけでよろしいですか。委員だけで。厚生委員だけでいいですか。

○委員（原田素代君）　そりゃそうでしょう。

○委員長（福木京子君）　一般の人も関心があると思いますよ、この懇談会に。

○委員（原田素代君）　それはだったら告知あるんですよね広報紙に。

○委員長（福木京子君）　そこのところはどうですか。どっかで知らせられますか。ホームページか何か。

はい、岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君）　お知らせのほうはホームページになろうかと思います。よろしく願いいたします。

○委員長（福木京子君）　ということですね。はい、わかりました。

それからもう一つ、私、こちらの病院の関係でそれぞれの科を踏襲するということですから、現在ある科を全てするというふうに、前回の厚生委員会で報告されてますので、だから内科、外科、リハビリテーション科というふうに書いておりますが、あと整形外科とか泌尿科とか、いろいろ全部出てましたね、現在やってる。それ同じようにやるというふうに説明があったと思いますが、そうですね。現在の科がある分を全部やるということですね。

○委員（原田素代君）　この書き方が。

○委員長（福木京子君）　だから、おかしいからここを確認しておきますので。

この3つだけの科ではないと思います。

岩本課長。

○健康増進課長（岩本武明君）　この3つは現在の標榜されてる科目でございまして、臨時の先生方に来ていただいている、先ほど言いましたように泌尿器科とか等もございまして。現在の標榜されてる科目がこの3つという形でございまして、こういう書き方をさせていただきました。

○委員長（福木京子君）　正確に書いていただきたいと思います。

他によろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福木京子君） そしたら次は、介護保険課のほうで何かありますか。

ありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福木京子君） ないようですので、協議事項の1と2は終わりにしたいと思いません。

それでは、3のその他のほうに入ります。

執行部のほうがありましたら。

はい、どうぞ。山田病院事務長。

○熊山支所長兼赤磐市民病院事務長（山田長俊君） 市民病院のほうから3月議会で1件、条例の一部改正ということで上程をさせていただき予定です。

条例のほうは赤磐市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例ということでございます。

内容につきましては、市民病院の診療所化に伴いまして市民病院の現在ある運営委員会の規則を廃止するために赤磐市の市民病院運営委員の報酬の項目を一部削除するというものでございます。

以上です。

○委員長（福木京子君） 今口頭で言われたんですが、できれば前の段階で文書できっちり出させていただきたい。今後はよろしくをお願いします。

その他はほかにはないですか。

執行部のほうよろしいですか。

執行部のほうでお願いをしていた件は、報告をお願いしたいと思うんですが。

それ先に原田委員言われますか。

○委員（原田素代君） よろしいですか。

○委員長（福木京子君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 前回の委員会が終了後、藤井参与が正副委員長のほうに前委員会で議論になったごみ焼却施設の運転業務委託管理についての入札の件について、民間業者さんのほうに入札についての設計見積書を要求してくださいという話の結果を、委員会が終了後にお二人に報告したと聞きました。

その中身が業者さんは企業秘密だから入札の見積書は出せませんと言われましたという結果を聞いたというふうに正副委員長から聞いたのですが、そのことについてまずなぜ厚生委員会終わった後にそういつてこっそり耳打ちするような報告にされたのか。本来であったらその他で報告してほしかった。

それから、その時点で内田副市長のほうに企業秘密で出せないということは通常あり得ないと聞いております、業者間で。ですから、当然もう一度見積書を要求してくださいというふうに要望しています。

この2点について教えていただきたいと思います。

○委員長（福木京子君） はい、藤井参与。

○市民生活部参与（藤井清人君） 業者への見積もりについて内容を提示してほしいということは前回委員長、副委員長、原田委員と執行部のほうが市長、それから私、富山局長との説明会の中で出たことでしたので、委員長、副委員長にその結果をお伝えしたということです。

なぜ出せないのかということなんですけども、工事請負と委託業務によって業務の内容が違います。請負工事につきましては当然最低制限価格、それから予定価格の公表といったものがあります関係も含めまして、工事内訳書については市のほうが業者に対して求めることができます。しかしながら、委託業務については人件費が主でございます。企業努力の部分もあろうかと思えます。そうした中で業務の明細について提出を求めましたが、企業のほうが提出は差し控えたいということですので、その旨を伝えたということでございます。

以上です。

○委員長（福木京子君） はい、内田副市長。

○副市長（内田慶史君） 今藤井参与のほうから御説明があったとおりでございますけれども、さらに私と参与のほうで今内部で調整をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（福木京子君） 内部で調整している。

○委員（原田素代君） 委員長、いいですか。

委員長。

○委員長（福木京子君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 同じ業者さん、日本管財サービスさんが山陽浄化センターの運転管理業務されてますよね。その見積書というのはたしか、誰かな、藤井参与かな、いただけてます。これがそうです。同じ管財サービスさんですよ。

○委員（佐藤武文君） あんたら3人でやっとならぬとて委員会は関係ねえ話。

○委員（原田素代君） だからその他で言ってるんです。

○委員（佐藤武文君） いやいやいや、その他でねえ、あんたら3人でやりゃあええが。わしらこの話は初めて聞く話じゃ。

○委員（行本恭庸君） わしは最初からいけん言うところ。

○委員（佐藤武文君） 初めて聞く話じゃ。あんたら何か3人で……。

○委員（原田素代君） わしゃあ聞いとらんぞという発言が多い方だから、せっかくだからその他で言ったほうが聞いたほうがいいでしょう。

○委員（佐藤武文君） いやいや、あんたらがそのようにかかわってやりようられること、我々はそういうことについて関与すべき話じゃないという感覚の中で……。

○委員（原田素代君） とにかく……。

○委員（佐藤武文君） 進めてきとんで3人でやりゃええが。

○委員（原田素代君） 最後まで言わせてください。最後まで言わせてください。

委員長、いいですか。委員長、発言続けていいですか。

○委員長（福木京子君） ほったらもう簡潔にやってください。

○委員（佐藤武文君） 委員会の話じゃありませんが。

○委員（原田素代君） だから、管財サービスさんは出してるのですから、今回のことは出せないということは通用しませんということをはっきりと申し添えてください。

以上です。

○委員長（福木京子君） はい、内田副市長。

○副市長（内田慶史君） 原田委員さんからも御指摘の件につきましては、対応策についてちょっと内部で検討しておりますので、ちょっと時間をいただきたいと思います。

以上でございます。

○委員（行本恭庸君） 委員長、その他。

○委員長（福木京子君） その他、はい、行本委員。

○委員（行本恭庸君） ごみの関係で今度津崎へ新しゅうできて、4月1日から稼働するようになつとんで、それで今度のごみの収集が熊山地区はふえるんと吉井がふえるということじゃな。そうしたときにどうい、集配の関係は、これ委託で出されるんじやろうから、どうい、格好にするんですか。

それと、へえからもう一つは、今病院があつて、病院にや病院の運営委員会があつたけど、こりや病院がなくなるんじやから当然なくなりますわな。じゃから、診療所になつてそれと同じような機能を持たせたものをやる計画があるんかないのか。

それからもう一つは、病院の診療の関係で、私前からも言うたことあるんけど、人工透析の患者さんもおられるんで、そこらが対応できるんかできんのんか。逆に言うたら、私からすればやってほしいという要望なんですけど、そこら辺のことをひとつ答弁をお願いします。

○委員長（福木京子君） まず、ごみの関係でちょっとわかりやすくお願いします。

はい、藤井参与。

○市民生活部参与（藤井清人君） ごみ処理の収集エリアのことですけども、今現在は山陽地域については職員が直営で主で可燃ごみ、資源ごみの収集をしております。その中でプラスチック製容器包装等は業務委託へ出しております。それから、リサイクルについてはシルバー人材センター等の委託業務の中で行っております。赤坂地域については、焼却は直営でやっておりますが、収集運搬については委託に出しております。

今後、熊山、吉井地域を和気北の組合から赤磐市が業務をすることについて、吉井、熊山地域の収集運搬について可燃、リサイクルを含めて委託へ出すものと直営へ出すもの、当然熊山地域には桜が丘東地域もごさいますので、限られた職員の中で委託へ出すものと直営へ出すものについての調整をしております。

○委員長（福木京子君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 今検討しとりますというて、4月1日から稼働せにやいけんのに、もうそう日がないのに。だから、新しい業者が、私が聞きたいのは今やってくれとる業者ができるのかできないのかというところが、今やとるところが余り大きなところがやとるとは思いませんので、大手が入ってくるとそこらへ圧迫して、今までいろいろ協力してくれようったところが入札にも入れんようなことになっても問題があるんで、そこらも無理のないところでやってほしいと思いますので。

せえと、今の時期にはっきりしたのが出とらにやいけんと思うんじゃな。ちょっと、その点早急に頼みます。

○委員長（福木京子君） はい、藤井参与。

○市民生活部参与（藤井清人君） ありがとうございます。

検討といいますのは、熊山、吉井地域をどういうエリアで発注するかということです。一度に出すとそれがとれない業者も市内業者当然ごさいますので、どういう区分で発注するかという業務のほうを今検討しておるところです。

以上です。

○委員長（福木京子君） よろしいですか、ごみは。

そしたら、診療所の関係をお願いします。

はい、奥本部長。

○保健福祉部長（奥本伸一君） 新診療所の運営委員会につきましては、新しくできますのが国保の直営の診療所ということでございまして、国保の運協の中で現在も佐伯北診療所につきましては国保の運協の中で御協議いただいておりますので、そちらのほうでやっていただきたいと考えております。

それから、人工透析につきましては、医師とかスタッフ、設備等、基準等明確にわかりませんので即答はできませんが、今回の再編の中で赤磐医師会病院につきましては透析センターの拡充を計画の中へ入っております。ということで、市民の皆様が身近なところで、距離の短いところで受けたいという気持ちはごさいますので、その点につきましては研究はしてまいりたいと思います。

○委員（行本恭庸君） よろしい。

○委員長（福木京子君） 他にありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福木京子君） それでは、ないようですので、第2回厚生常任委員会を終わりにしますが、その前に副市長、御挨拶をお願いします。

はい。

○副市長（内田慶史君） 本日は第2回の厚生常任委員会ということで、平成25年度の事業の進捗状況、また平成26年度の新規事業の概要について御説明をさせていただいたところでございます。

協議の途中でいただきました御指摘の件につきまして、今後委員会なりに丁寧な説明に努めたいというふうに考えております。

また、正副委員長さんには情報の伝達等々、日ごろから緊密な連携をとらせていただきたいと思います。

以上でございます、今後ともひとつよろしく願いいたします。

○委員長（福木京子君） ありがとうございます。

これで第2回厚生常任委員会を終わりにいたします。

どうも御苦労さまでした。

午前11時25分 閉会